

# 東海道とまちかど博物館を訪ねる



平成24年5月20日（日）9時から13時に開催しました。

みえ歴史街道構想四日市地域推進協議会と四日市地域まちかど博物館推進委員会との初めてのコラボ事業が実現しました。東海道沿いに残る史跡や寺社の見学と、まちかど博物館の館長さんから、貴重なコレクションの紹介や解説、こだわりの技など、生活の中で見られる地域文化を公開いただきました。

身近なところにある文化資産を発見したり、館長さんとのあたたかい交流の場に入れて参加者のみなさんにはコラボ企画を楽しんでいただくことができました。



【近鉄内部駅】

■内部駅前に六十余名が集まりました。  
 ■長谷川委員より、「軽便鉄道」についての解説を聞きました。現在モノローグゲージで路線運航しているのは、内部・八王子線と北勢線の二路線の貴重な鉄道です。



■東海道を歩きます。

「徒歩ならば杖つき坂を落馬かな」と有名な芭蕉の句碑があります。

■うつべ町かど博物館では、地元有志の皆さんによって郷土の歴史、文化を後世に伝えていこうと地域の遺跡からの出土品や古文書、庶民の生活用品などの展示、解説を行っています。  
 ■すぐ近くには古事記に記されている杖衝坂があり、街道ウォークを楽しむ遠くからの訪問者が立ち寄ります。



■号室翁の書



【うつべ町かど博物館】





■うつべ町かど博物館には、二館の出張展示も行われました。

■かめ・かめ博物館

カメのコレクションで、五千点を超える中から館長・森さんのセレクトによるカメの置物多数の展示がありました。

■小田原提灯参考館

江戸時代の懐中提灯を収集している野呂さんの展示がありました。

参加者は東海道の旅人を想像しながら小田原提灯に見入っていました。

【いわひば苑】



■不老長寿といわれる古典植物「いわひば」が所狭しと並んでいました。長年（四十年も）愛情かけて育ててこられたいわひばは、今が見ごろで美しいグリーンがまばゆいばかりです。秋の紅葉も絶景だとか。初めて見たという方々も多かったです。

■「川工房針の花」の川北さんと「マルシゲ清水製茶」清水さんも出張展示を行い、新茶をいただきながら和やかな交流の場が繰り広げられました。



【小許曾神社】



→ ■民間信仰の名残り「庚申塔」の解説を聞きました。

↑ ■小許曾神社では毎年一月、豊凶占いの「粥試し神事」が行われています。四日市内では小許曾神社のみに残る神事となっています

■観音寺は、黄檗宗のお寺で、山門にはマカラと呼ばれる異国風の装飾が施されています。



【慈現山観音寺】



【伊勢蔵】

伊勢蔵  
まちの博物館



■大杉桶でゆっくり熟成されている味噌醤油蔵を見学しました。  
個人ではなかなか見られない醸造蔵の仕込みの説明や、蔵いっぱいに広がる豊かな香りに魅せられました。

【日永の追分】



■東海道と伊勢街道の分岐点、四日市宿と石薬師宿・神戸宿の間の宿でした。  
■鳥居の一角には手水舎があり、水は今もこんこんと湧き出ています。遠くからも多くの人が汲みに来ます。

ご参加いただきました皆様ありがとうございました。